能登半島地震（能登町）における発災後のトイレ事情調査

2025年 11月 12日

特定非営利活動法人日本トイレ研究所（災害用トイレ普及・推進チーム）

Labo. 日本トイレ研究所

dtat 災害用トイレ普及・推進チーム disaster toilet assistance team

調査概要

調査目的　：　被災者のトイレ事情を把握することで、災害時のトイレ環境の課題を明確にする

調査対象　：　能登町内の全仮設住宅入居世帯（18団地571世帯（2024年12月時点））

調査方法　：　仮設住宅にポスティングし、郵送およびFAX で回収

調査期間　：　2025 年 9 月 24 日（水）～ 10 月 10 日（金）

回 答 数　：　246サンプル

実施主体　：　特定非営利活動法人日本トイレ研究所（災害用トイレ普及・推進チーム）

協　　力　：　能登町

※本調査では、小数第２位を四捨五入しています。そのため、数字の合計が100％とならない場合があります。

本件に関するお問い合わせ

特定非営利活動法人日本トイレ研究所

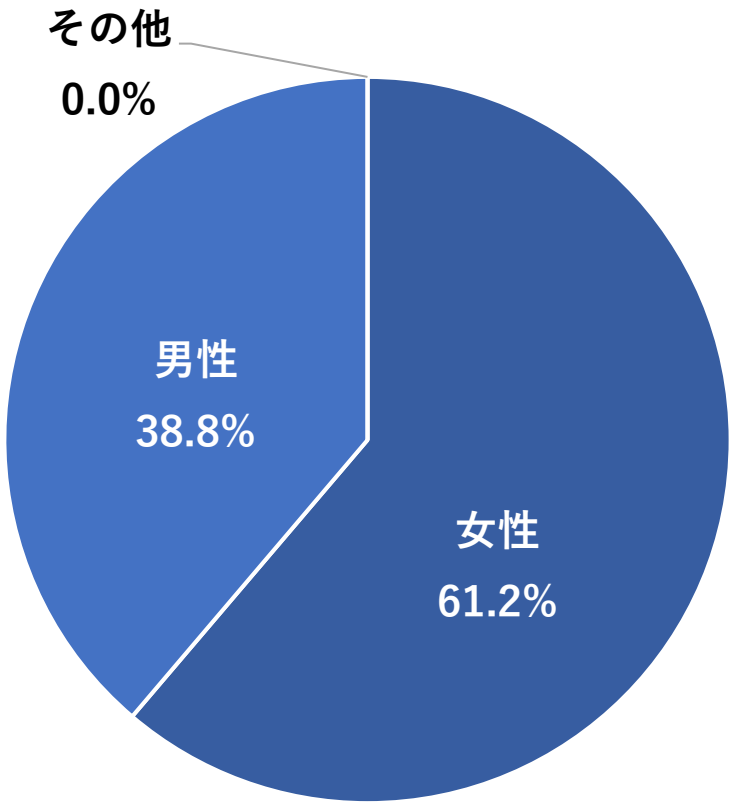
E-mail saigai@toilet.or.jp　　TEL 03-6809-1308　　FAX 03-6809-1412

本資料を転載・引用される際は上記までご連絡の上、クレジット表記をお願いいたします。

Copyright JAPAN TOILET LABO　All Rights Reserved

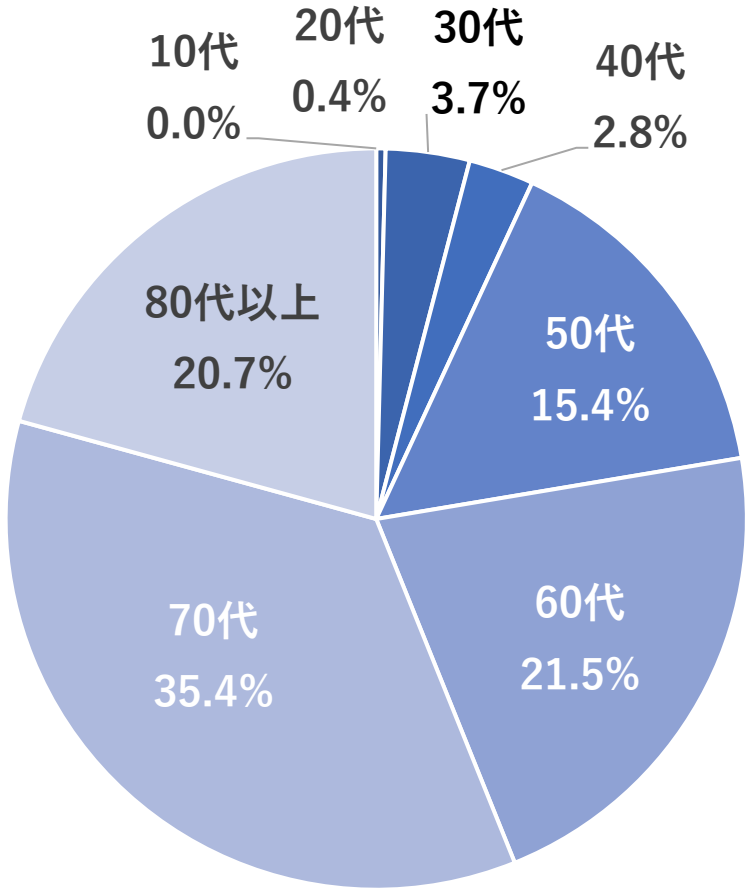
回答者の性別と年代

性別



n=245

年齢



n=246

© NPO Japan Toilet Labo.

結果概要

調査結果のうち、主なものを以下に示す。

地震発生後、最初にトイレに行きたいと感じた時間(P.04)
発災から3時間以内と回答した人は５４.７％であり、６時間まで含めると８８.３％になる

避難生活の初期において、困ったこと(P.07)
最も多いのは「トイレ」６９.８％で、次に「眠れる環境」５８.３％、「食事」５０.０％、「寒さ」４３.４％、
「飲み物」２９.８％、「プライバシー」２９.３％である

避難所に設置されたトイレ車両（トイレカー、トイレトレーラー、トイレコンテナ）の利用環境について気になったこと(P.08)
最も多いのは「トイレの個室数が少ない」４４.５％、次に「トイレまでが遠い」３２.９％、「トイレの中が狭い」３０.３％、
「床・階段が滑りやすい」３０.３％、「トイレの段差や階段が怖い」２７.７％である

仮設トイレやトイレ車両が来た日(P.09)
初日に到着したのは７.６％、３日以内１６.５％、７日以内２５.９％である

トイレごみ（使用済み携帯トイレなど）の回収が実施された日 (P.10)
初日に回収できたのは８.１％、２～３日以内１０.６％、４～７日以内１８.０％である

避難所に設置された仮設トイレやトイレ車両の使用禁止(P.11)
「よくあった」と「ときどきあった」をあわせると４３.０％である

避難所でのトイレ我慢(P.13)
「ときどきあった」６３.２％と「一度だけあった」２.４％をあわせると６５.６％である

トイレに行く回数を減らすために水分摂取を控えることがありましたか？(P.15)
「ときどきあった」５３.３％と「一度だけあった」２.６％をあわせると５５.９％である

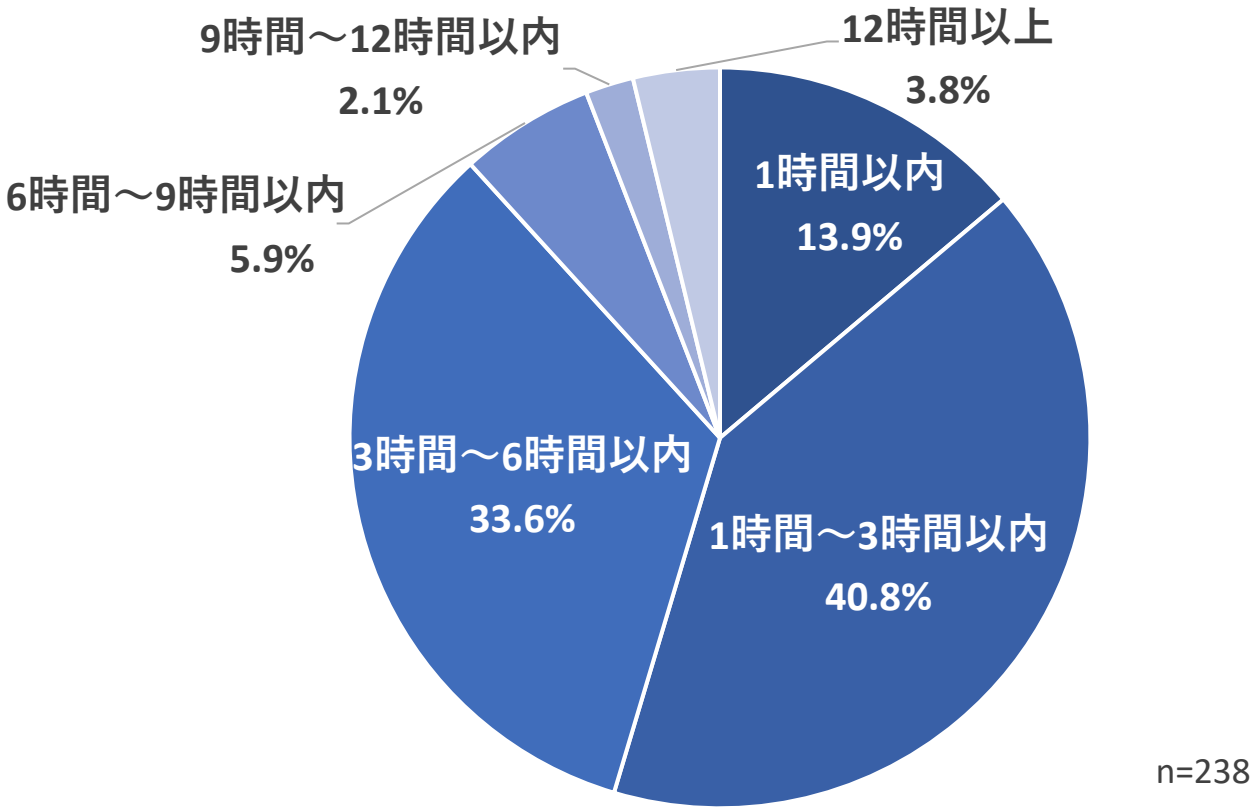
トイレが原因で水分摂取を控えたりすることで、体調を崩す(P.16)
「ときどきあった」２２.２％と「一度だけあった」７.２％をあわせると２９.４％である

© NPO Japan Toilet Labo.

最初にトイレに行きたいと感じた時間

Q1.　地震発生後、最初にトイレに行きたいと感じた時間はどのくらいですか？（SA）

・発災から3時間以内と回答した人は５４.７％であり、６時間まで含めると８８.３％になる



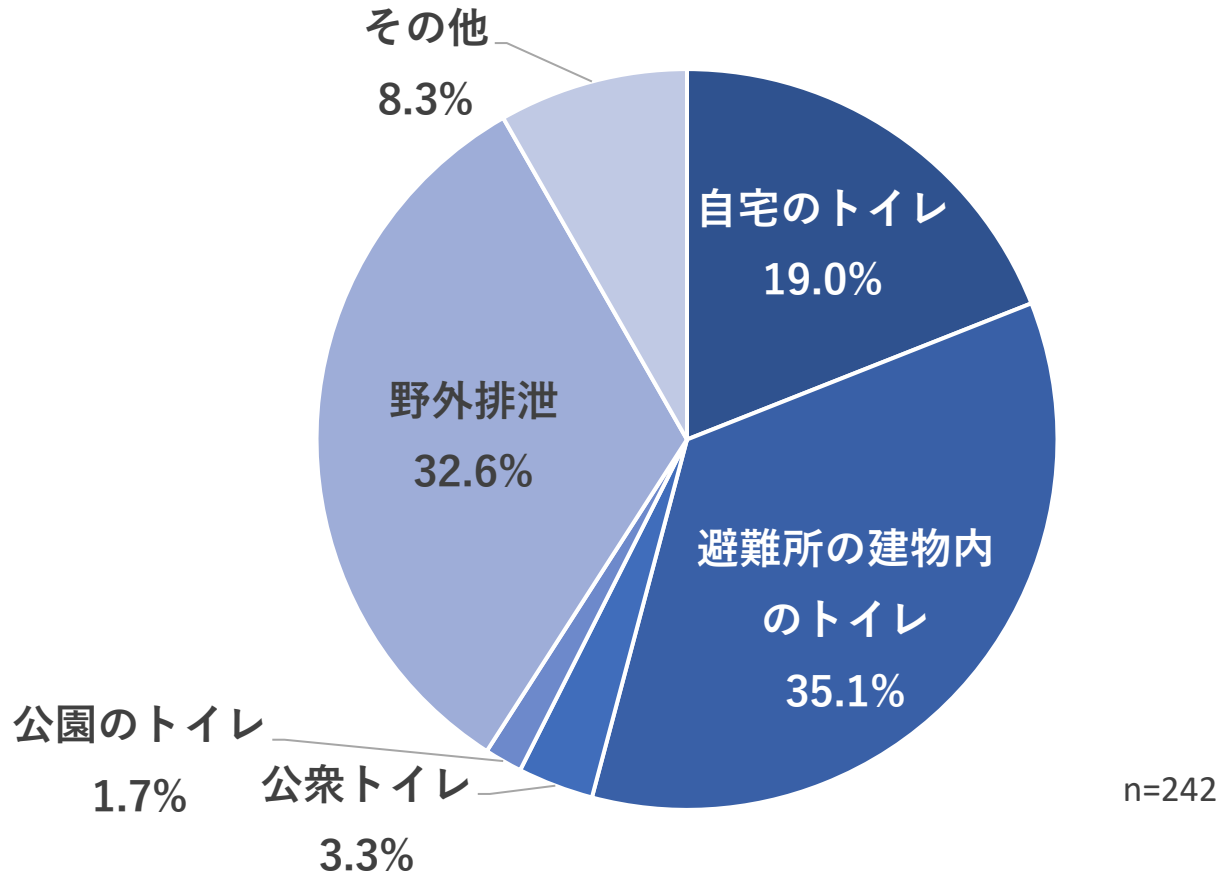
n=238

© NPO Japan Toilet Labo.

最初に利用したトイレ

Q2.　地震発生後は、どこのトイレを最初に利用されましたか？

・最も多いのは「避難所の建物内のトイレ」３５.１％、次に「野外排泄」３２.６％である



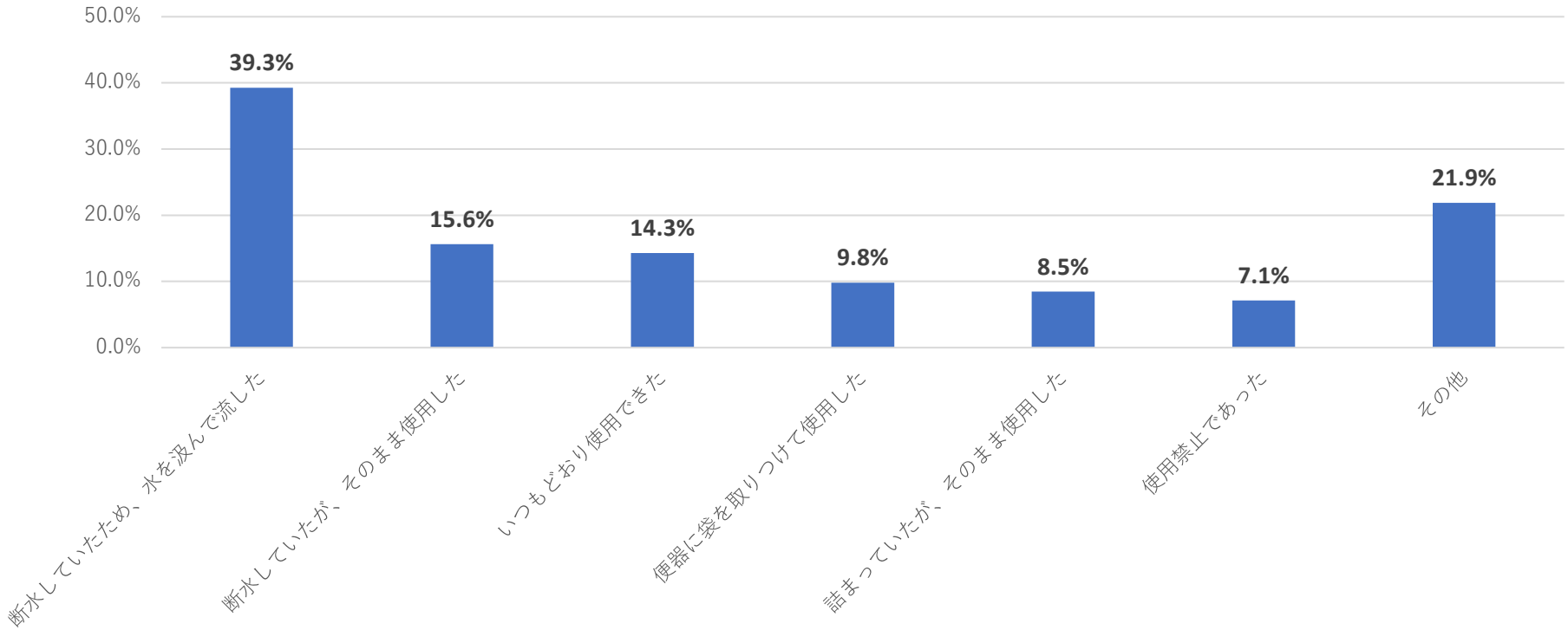
© NPO Japan Toilet Labo.

発災後のトイレの状況

Q3. 「Q２.」で回答いただいたトイレの状況を教えてください（MA）

- 最も多いのは「断水していたため、水を汲んで流した」３９.３％で、次に「断水していたが、そのまま使用した」１５.６％、「いつもどおり使用できた」１４.３％である

n=224



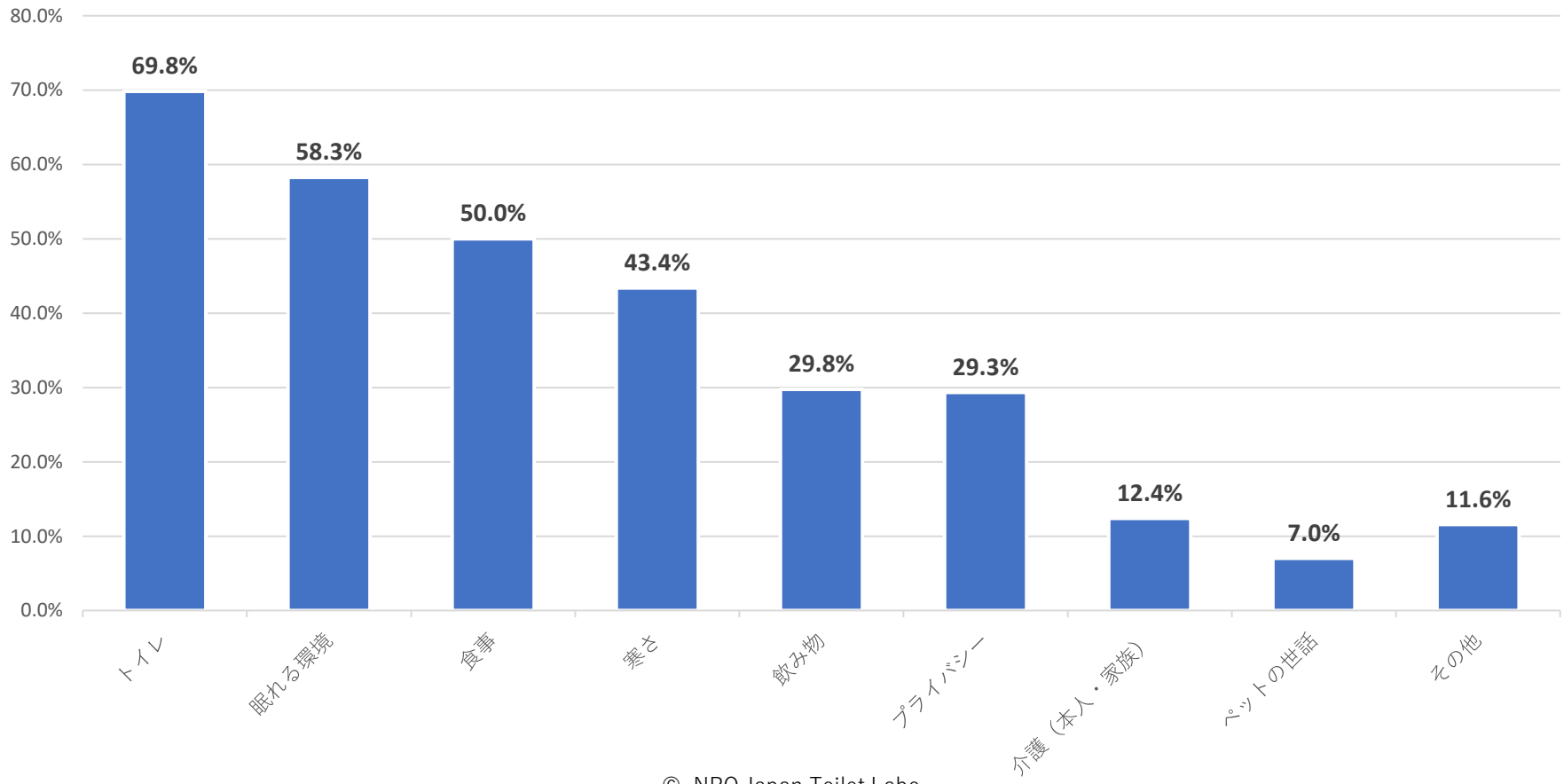
© NPO Japan Toilet Labo.

避難生活で困ったこと

Q4.　避難生活の初期において、最も困ったことは何ですか？　（MA）

- 最も多いのは「トイレ」６９.８％で、次に「眠れる環境」５８.３％、「食事」５０.０％、「寒さ」４３.４％、「飲み物」２９.８％、「プライバシー」２９.３％である

n=242

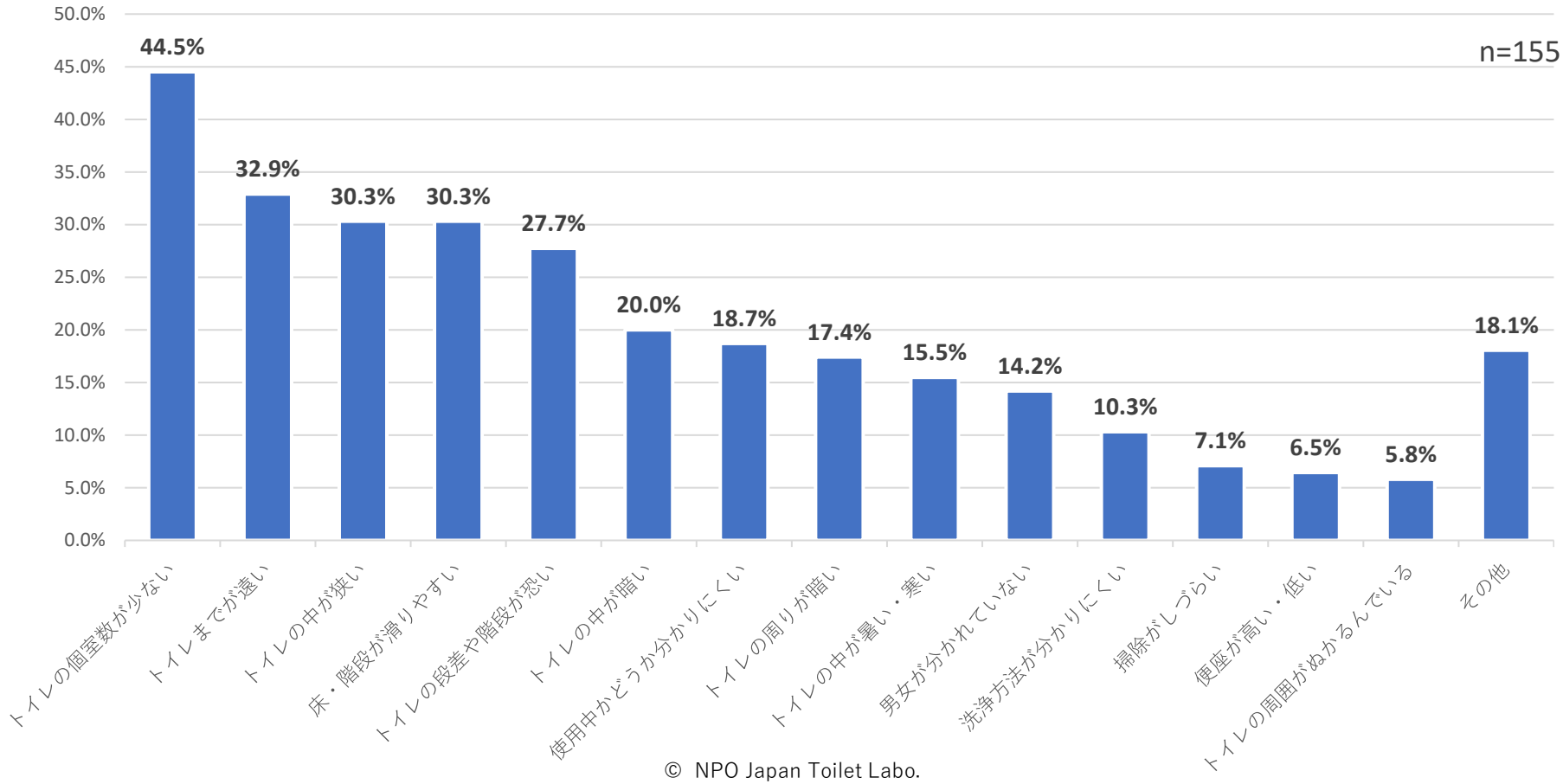


© NPO Japan Toilet Labo.

トイレ車両の利用環境で気になったこと

Q5.避難所に設置されたトイレ車両（トイレカー、トイレトレーラー、トイレコンテナ）の利用環境について気になったことは何ですか？ （MA）

- 最も多いのは「トイレの個室数が少ない」４４.５％、次に「トイレまでが遠い」３２.９％、「トイレの中が狭い」３０.３％、「床・階段が滑りやすい」３０.３％、「トイレの段差や階段が怖い」２７.７％である

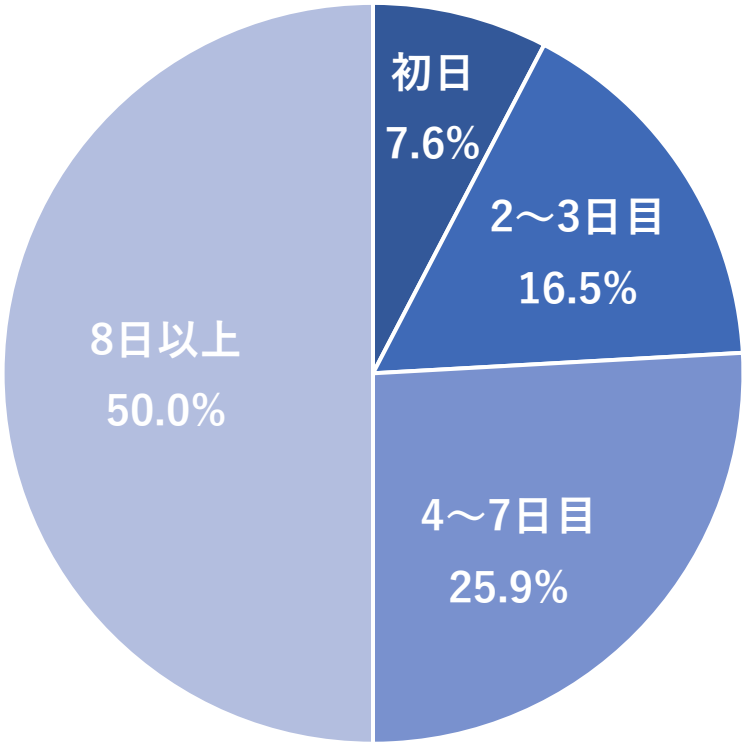


© NPO Japan Toilet Labo.

仮設トイレやトイレ車両の到着日

Q6.　仮設トイレやトイレ車両が来たのは、発災後何日目ですか？　（SA）

- 初日に到着したのは７.６％、２～３日以内１６.５％、４～７日以内２５.９％である



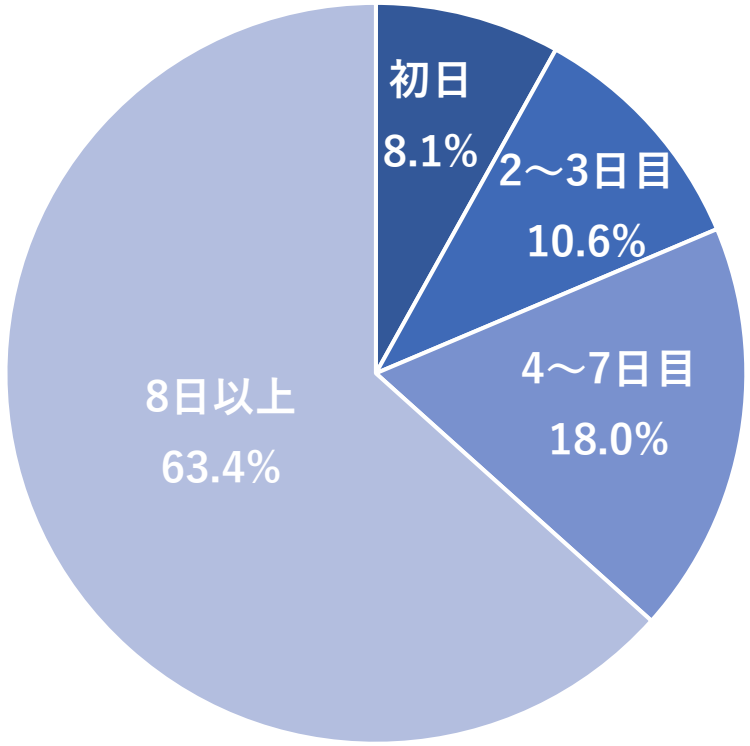
n=168

© NPO Japan Toilet Labo.

トイレごみの回収

Q7.　トイレごみ（使用済み携帯トイレなど）の回収が実施されたのは発災後何日目ですか？　（SA）

- 初日に回収できたのは８.１％、２～３日以内１０.６％、４～７日以内１８.０％である



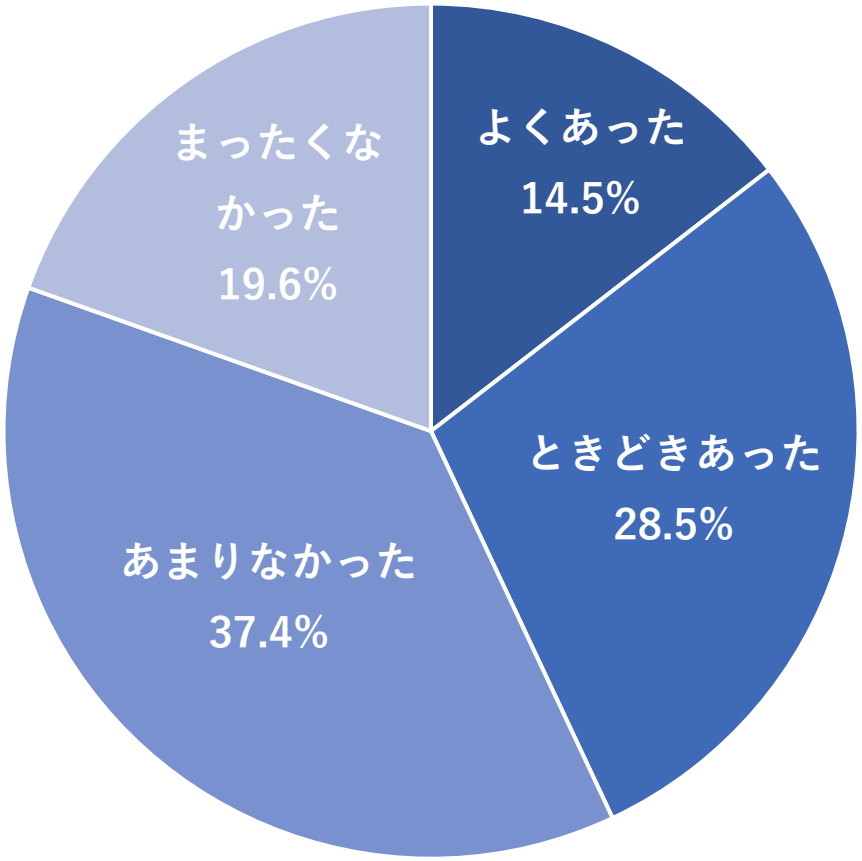
n=161

© NPO Japan Toilet Labo.

使用禁止のトイレ

Q8.　避難所に設置された仮設トイレやトイレ車両について、し尿の汲み取りが間に合わずに使用禁止になっていたことはありましたか？　（SA）

- 「よくあった」と「ときどきあった」をあわせると４３.０％である



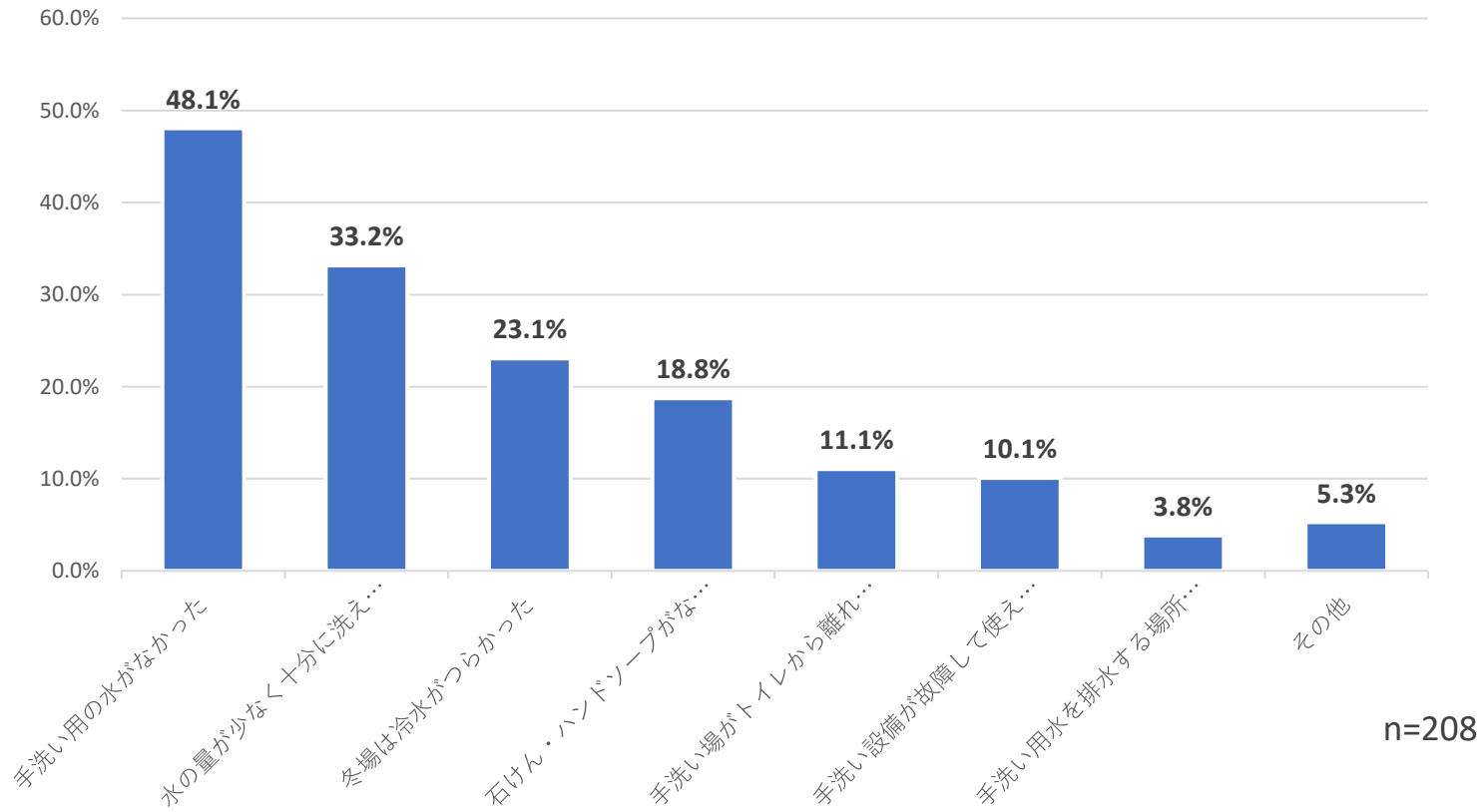
n=179

© NPO Japan Toilet Labo.

手洗いで困ったこと

Q9.　屋外のトイレ後の手洗いで困ったことは何ですか？　（MA）

- 最も多いのは「手洗い用の水がなかった」４８.１％、次に「水の量が少なく十分に洗えなかった」３３.２％、「冬場は冷水がつらかった」２３.１％である



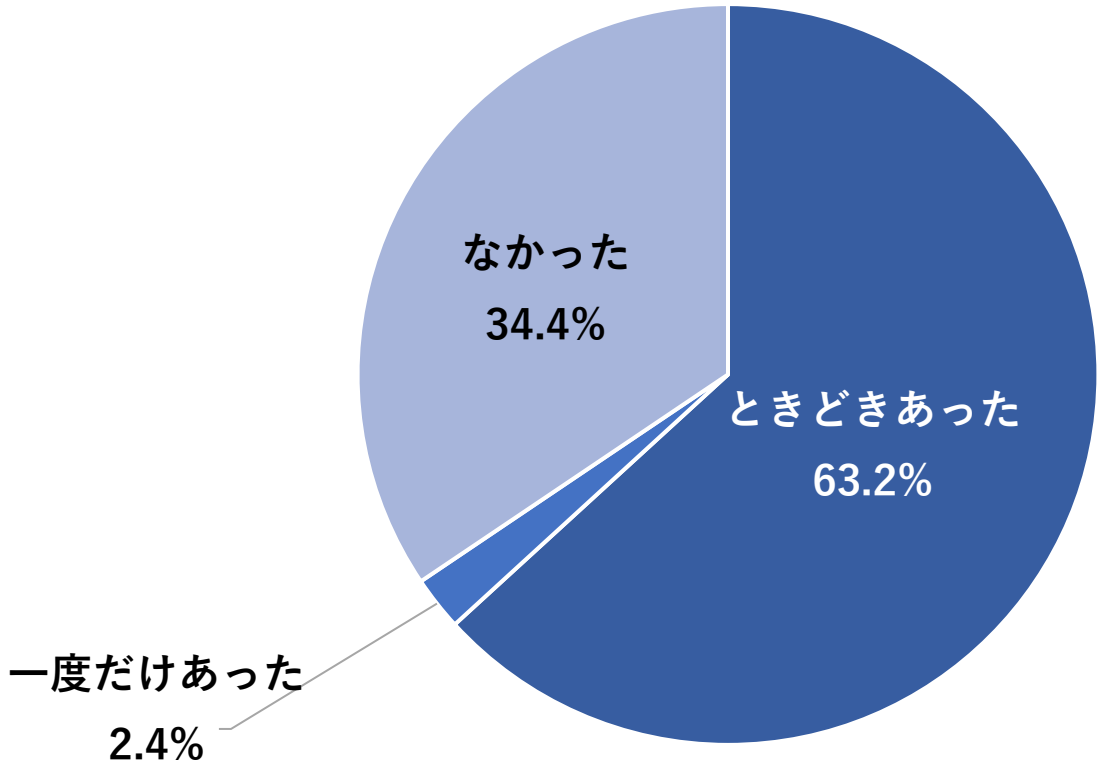
n=208

© NPO Japan Toilet Labo.

トイレの我慢

Q10.　避難所でトイレを我慢したことがありましたか？　（SA）

- 「ときどきあった」６３.２％と「一度だけあった」２.４％をあわせると６５.６％である



n=212

© NPO Japan Toilet Labo.

トイレを我慢した理由

Q11. 「Q10」で「ときどきあった」もしくは「一度だけあった」と回答された方にお聞きします。トイレを我慢した理由を教えてください。

自由記述の内容を分類した結果を以下に示す。

- 最も多いのは「混雑している・トイレの数が少ない」で、次に「汚れている・臭い・不衛生」、「断水で流せない・水が不足している」である。

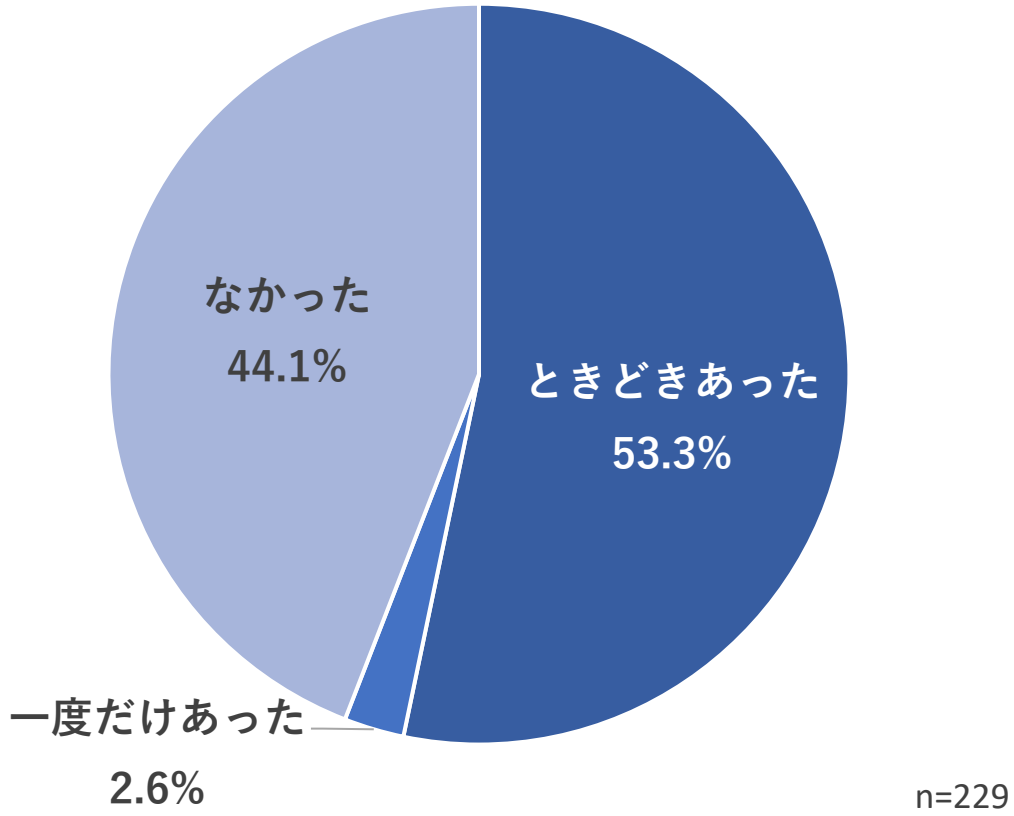
- 混雑している・トイレの数が少ない：44
- 汚れている・臭い・不衛生：35
- 断水で流せない・水が不足している：16
- トイレまで遠い：14
- 寒い・暗い・怖い：12
- 故障等で使用禁止になっている：6
- 人目が気になる・落ち着かない：5
- トイレの場所がわかりにくい：1
- 子連れや障害者等に配慮されていない：1
- 和式で使えない、非水洗で使いづらい：1
- その他：17

© NPO Japan Toilet Labo.

水分を控えたこと

Q12.　トイレに行く回数を減らすために水分摂取を控えることがありましたか？　（SA）

- 「ときどきあった」５３.３％と「一度だけあった」２.６％をあわせると５５.９％である

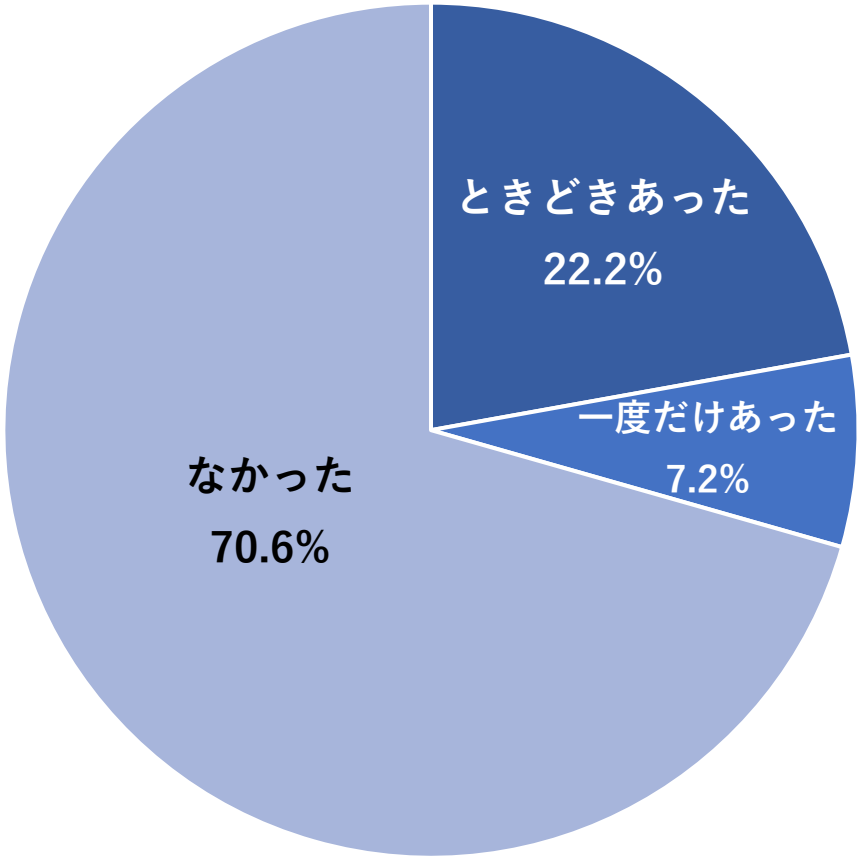


© NPO Japan Toilet Labo.

トイレが原因で体調を崩したこと

Q13.　トイレを我慢したり、トイレに行く回数を減らすために水分摂取を控えたりすることで、体調を崩したことはありましたか？　（SA）

- 「ときどきあった」２２.２％と「一度だけあった」７.２％をあわせると２９.４％である



n=221

© NPO Japan Toilet Labo.

Labo.
日本トイレ研究所

日本トイレ研究所は「トイレ」を通して社会をより良い方向へ変えていくことをコンセプトに活動しているNPO団体です。
阪神淡路大震災を契機として、災害時のトイレ問題に本格的に取り組んでいます。
自治体と共同でフォーラムの開催や災害時のトイレに関するアンケート調査・被災地におけるトイレの調査の実施、また「災害時トイレ衛生管理講習会」開催と「防災トイレアドバイザー」養成といった人材育成、ポスター・小冊子の作成等の啓発活動を行っています。

dtat
災害用トイレ普及・推進チーム
disaster toilet assistance team

日本トイレ研究所は 2014年、地方公共団体のトイレ対策および備蓄の推進を目的に災害用トイレ普及・推進チームを立ち上げました。
災害用トイレの開発や販売に携わる企業、行政や専門家と連携しながら災害用トイレ・衛生製品の普及とトイレ対策の推進に取り組んでいます。
災害用トイレガイド（www.toilet.or.jp/toilet-guide/）では、過去の災害におけるトイレ事情アーカイブ、災害用トイレの選び方、災害用トイレの性能など、様々な情報を発信しています。